

News Release

2010年3月29日

ディーリンクジャパン株式会社

**D-Link はワイヤレス LAN スタンドアロン アクセスポイント
出荷の世界市場シェアを保持
Gartner 社の権威ある「MAGIC QUADRANT FOR WIRELESS LAN
INFRASTRUCTURE」でリードポジションに選ばれる**

ネットワーク機器・製品ソリューションをグローバルで展開する D-Link Corporation は、アナリストと調査会社の Gartner 社により、ワイヤレス LAN ソリューションの産業ベンダーとして位置づけられています。ガードナー社によるマーケットシェアのレポートにおいて、D-Link は 2009 年 ワールドワイド ワイヤレス LAN スタンドアロンアクセスポイント ミディアム-ラージ エンタープライズ 出荷の部門において首位を獲得しました。

D-Link は、SMB セクターにおいて信頼ある WLAN ソリューションベンダーです。2009 年 D-Link はスモール WLAN スタンドアロンアクセスポイントのエンタープライズマーケット出荷部門にて 37.2%のシェアで首位を保持、2位の 21.2%と比較し、すばらしい結果を得ています。もっとも優れた結果として D-Link はミドル-ラージエンタープライズの出荷部門においても 26.1%と首位のマーケットシェアを保持していることを同レポートは伝えています。

D-Link は Gartner 社の「Magic Quadrant for Wireless LAN Infrastructure」でリードポジションに位置づけられました。Magic Quadrant は「ビジョンの完全性」と「実行力」の 2 つが評価基準のベースとなっています。

「D-Link は WLAN スタンドアロンアクセスポイントの出荷における強いリードを固めたばかりではなく、ビジネスソリューション市場に対して年々、高い成長と指導力を示し続けてきました。私たちが Gartner 社の Magic Quadrant for Wireless LAN Infrastructure で評価されたことは、誠に光栄に思います。」とディーリンクジャパン株式会社代表取締役社長 Marty Liao は述べました。

昨年の景気後退以来、IT 関連の景気が戻り始めている今年、D-Link は積極的にビジネスエンタープライズ市場を獲得しています。このために、D-Link は、今年さらに企業付加価値が付いたリセーラ、ソリューションプロバイダー、ディストリビュータ、および小売業者への販売を強化するために、新規チャネル開拓とトレーニングを推進していきます。D-Link はまた、IP 監視の統合、ビジネスエンタープライズ市場での足跡を推進するなどスイッチングビジネスで強みを活用し組合せ販売する機会も計画しています。

【Magic Quadrant について】

Magic Quadrant は 2010 年 2 月時点でガートナー社の登録商標で、同社の許可の下、再利用されます。Magic Quadrant は、特定の時点あるいは期間における市場状況をグラフィカルに表しています。また、同レポートでは、ガートナー社が定義する市場基準による特定ベンダー企業に関する分析が記載されています。ガートナー社は、Magic Quadrant に記載されているベンダー、製品、あるいはサービスを特別に支持し、リーダーポジションに位置付けられたベンダーのみを採用するよう技術ユーザに推奨することはありません。Magic Quadrant は、調査ツールとしてのみ利用されることを目的としており、何か行動を起こさせるような指針となることを意図していません。ガートナー社では、この調査に関して、特定の目的に向けた商品性あるいは適合性へのいかなる保証をも含む、明示的あるいは黙示的なすべての保証を放棄しています。

【D-Link 社について】

世界 64 ヶ国、130 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワークングの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと“グリーンIT”に注力しています。日本では OEM 事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。

D-Link、xStack、及びロゴは D-Link Corporation もしくは関連会社の商標登録です。弊社製品に含まれる第三者の著作物(OSS その他第三者のプログラム等)については、謝辞表記のほか、各製品に同梱されている各著作物のライセンス等をご確認ください。